

常任委員会活動

鳥取県議会には4つの常任委員会があり、定例会中の付託案件の審議に加え、閉会中も継続審査や県内外調査、勉強会などの活動を続けています。

総務教育常任委員会

9月定例会では、本委員会所管の令和元年度鳥取県一般会計補正予算（第2号）及び会計年度任用職員の設置に伴う関係条例の整備に関する条例の2議案について慎重に審査を行った結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定した。

また、NHK放送のスクランブル化及び希望者との契約の締結に係る検討の開始を求めるものなど、新規の陳情2件について慎重に審査を行った結果、いずれも不採択と決定した。

県外調査では、宮城県及び秋田県を訪問し、地方創生の取組をはじめ、地方自治体におけるSDGs推進の取組、学校安全及び英語教育推進の取組等について調査を行った。



福祉生活病院常任委員会

9月定例会では、本委員会所管の補正予算など8件の議案について、慎重に審議を行った結果、いずれも原案どおり可決すべきものと決定した。

また、陳情1件について慎重に審議を行った結果、「不採択」と決定した。

そのほか8月28日から30日まで、奈良県庁、滋賀県庁、近江学園、豊橋市バイオマス利活用センターを訪問し、本委員会所管に係る調査を行い、その中でも精神障害者医療費助成事業、豊橋市バイオマス利活用施設整備・運営事業については、本県においても参考にすべき取組であったことから、執行部へ提言を行った。



農林水産商工常任委員会

9月定例会では、本委員会所管の「令和元年度鳥取県一般会計補正予算（第2号）」など3件の議案について、慎重に審議を行った結果、いずれも原案どおり可決すべきものと決定した。

県外調査では、7月30日から3日間の行程で、群馬県、栃木県、福島県、東京都を訪問し、外国人材が活躍する企業の取組、航空産業参入事例を通じたこれからの中小製造業の取組、自律多機能型農作業ロボット導入の取組、養殖漁業の取組、そして、今年4月にリニューアルオープンした首都圏アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」による、県産品販路拡大の取組を調査し、本県商工業、農・水産業の発展に大いに参考になるものであった。



地域づくり県土警察常任委員会

9月定例会では、令和元年度鳥取県一般会計補正予算（第2号）など4議案について慎重に審議を行った結果、妥当なものと認め、原案のとおり可決すべきものと決定した。

併せて、新規の陳情2件について慎重に審査を行った。このうち、「鳥取県境港の整備促進について」は現在、境港管理組合が中心となって境港の20～30年後の将来像等を取りまとめる長期構想を策定中であり、その結果を踏まえ、今後改訂予定の港湾計画に反映されることから、不採択と決定した。

また、8月には山形県、秋田県を訪問し、観光誘客策、特殊詐欺被害防止、中山間地域活性化策などについて調査を実施した。

